# EU百科事典

2024年12月刊行予定

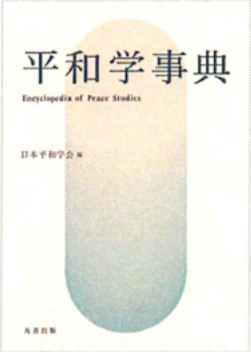
A5判・640頁　定価 24,200円（本体 22,000円＋税10%）
ISBN978-4-621-31025-0

## ヨーロッパはなぜ統合したのか？

戦乱と対立を繰り返してきた「ヨーロッパ」地域の平和と統合の試みとして生まれたヨーロッパ連合（EU）。歴史的にも稀有な試みは、「ヨーロッパ」の概念に何をもたらし、またどのようにそれを作り上げてきたのか。欧州統合の取り組みを、EUを軸に政治・経済・文化・法律・安全保障・外交など多様な側面から探求する画期的な事典。

©European Commission Audiovisual Library（左上）, ©NATO（右上）
©Bundesarchiv Koblenz（左下）, ©鳥海基樹（右下）

## 関連商品



### 平和学事典

**日本平和学会 編**

A5判・778頁
定価26,400円（本体 24,000円＋税10%）
ISBN978-4-621-30808-0

何が平和を脅かすのか、何が平和の基礎となるのかを究明する「平和学」。日本平和学会を編集母体として、計276項目を立項した日本の平和学の総力を結集した学問事典。日本平和学会設立50周年記念出版。

### 中欧・東欧文化事典

**中欧・東欧文化事典編集委員会 編**
**羽場久美子 編集代表**

A5判・866頁
定価 24,200円（本体 22,000円＋税10%）
ISBN978-4-621-30616-1

多様な文化と人々が混じり出会う「はざまの地域」である東欧、中欧、中東欧。この地域の文化や歴史の全体像を340項目で見開き完結構成でたどる中項目事典。

### ハプスブルク事典

**川成 洋・菊池良生・佐竹謙一 編**

A5判・826頁
定価 24,200円
（本体 22,000円＋税10%）
ISBN978-4-621-30681-9

中世以来600年、欧州史の中心にいたハプスブルク家。文化・政治・経済などあらゆる面に多くの影響を与えたその家を軸に、欧州の歴史を見る中項目事典。

### EU統合による歪みとポピュリズムの台頭

欧州各国市民の声から知るその内情

**日本語字幕版監修：高屋定美**（関西大学商学部 教授）

セット本体価格 120,000円＋税10%
各巻 本体 40,000円＋税10%
DVD／全3巻／各巻50分／2021年（原版2020年）
日本語字幕・英語字幕版（音声：英語）

EU統合が各国に求めたもの、各国の不満とは何か。さまざまな職業の市民と行動しながら、彼らが今日の政治状況をどう捉えているかに迫る。

**丸善出版株式会社**　〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-17 神田神保町ビル 営業部
TEL (03)3512-3256　FAX (048)852-5591（受注センター）　https://www.maruzen-publishing.co.jp

ご注文はお近くの書店まで

注文書

EU百科事典　定価 24,200円（本体 22,000円＋税10%）
ISBN978-4-621-31025-0　冊

冊

お名前

ご住所　〒

TEL

取扱店

※ご注文をいただいた個人情報は、書店、取次（流通）・弊社間での商品手配の目的に利用させていただきます。

tom.24.A0e

---

# EU
# 百科事典

A5判・640頁
定価 24,200円（本体 22,000円＋税10%）
ISBN978-4-621-31025-0

#USE YOUR VOTE
ELECTIONS.EUROPA.EU
European Union
720 SEATS

©European Union 2024 – Source : EP

**編集代表**　羽場久美子（青山学院大学名誉教授）
田中素香（東北大学名誉教授）
中西優美子（一橋大学法学部教授）

最新情報・詳細はこちらから
丸善出版ホームページへ

◆電子書籍のお求めはこちらから
MeL　KinoDen　LibrariE TRC-DL　KW　UNIV. Co-op　honto　Kindle
詳細はこちら◀

※電子版発売、および販売ストア等は変更になる場合がございます。

丸善出版

# 刊行にあたって（一部抜粋）

EU・NATOの拡大、ユーロ危機、イギリスのEU離脱、欧州の移民・難民の受け入れとポピュリズムの成長、ウクライナのEU・NATO加盟をめぐるロシアのウクライナ侵攻……。デジタル化や気候変動、エネルギー問題に至るまで、今や国際情勢の重要な問題でEUが関わらないものはほとんどないと言っていいのではないだろうか。

それほどに、EUの問題は今やアメリカや中国・東アジアと並び、世界の3大鼎鼈として並び立っている。特に新しい規範や制度を作り、平和と繁栄を維持しつつ、パンデミックの猛威や戦争の中でも、日々現代的な新たな規範と課題を設定し、それに挑んでいるのがEUであり、国連に並びたつ存在でもあると言えよう。

（中略）日本人や世界にとって、最も関心の高い経済や、最も理解しがたく難しいが統合理念の根幹でもある法、さらに最も身近だがなかなか全体像が見えなかった文学・音楽・芸術などをすべて取り込み、総合的な、かつ読みやすく一般読者にとってもわかりやすい、政治・経済・法・社会・文化を網羅する優れた事典を作りたいと考えた。

以上の試行錯誤の上に、本書の構想が実現した。本書、『EU百科事典』は、丸善出版がこれまで出版してきた、18冊の各国・各地域の文化事典の成果に依拠しながら、ヨーロッパ統合全体を多層なガバナンス、すなわち、歴史・政治・機構・法・経済・社会の柱で、さらにその背景にある豊かな文化について、宗教・アイデンティティ・音楽・芸術・人の移動・教育・ジェンダーなども網羅した包括的・画期的なものである。

（中略）加えて、日本人がEU研究を考える際の、日本・アジアにおける歴史的和解の重要性と困難さ、地域摩擦と地域協力の問題をも検討しようとした。さらに現在のロシア・ウクライナ戦争をめぐる、ウクライナとEU、NATOとの関係を、法・政治・経済・地域研究の各層から可能な限り「多面的に」、20年、30年持ちうる客観的かつ多様な分析により考察しようとした。

編集方針として、可能な限り、大家、中堅、ジェンダー、若手のバランスを取り、海外の研究者にも積極的に協力して頂き、最先端のかつ多様で客観的、歴史的、宗教的、思想的な視点も加えようとした。

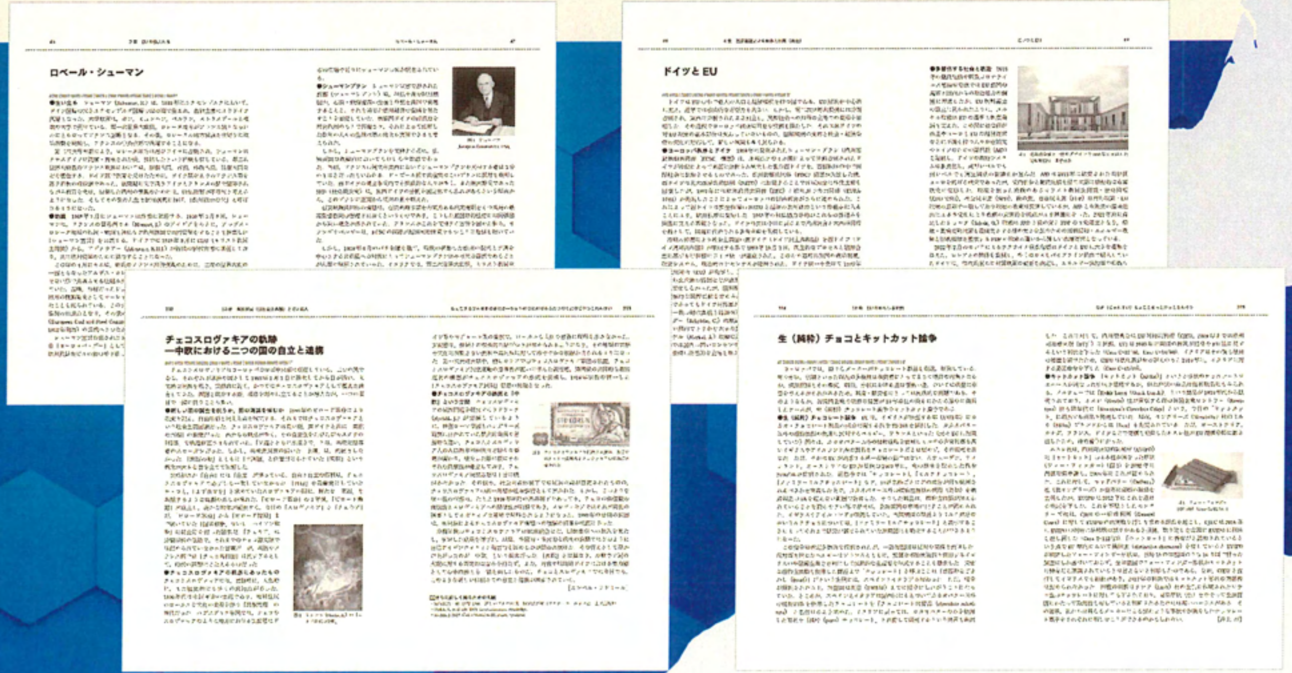
（中略）

学校でも地域でも大学でも、一般の方々でも有用にかつ長く使っていただける事典を目指し鋭意努力してきたが、それでも、時の流れにより、あるいは価値の多様性や分析の不十分さから、読者よりご指摘いただき直していく事象や分析もいくつもあるかもしれない。是非暖かいご指摘をいただければ幸いである。

EUの目指す不戦共同体、エネルギーの共同、多様性の中の統合、地域・国境を越えた共同と平等の理念が、紛争地域を含む世界の各地で実現され、豊かな未来を創っていくヒントを提供できれば、と心から願いつつ――。

2024年12月吉日

編集代表
羽場久美子　田中素香　中西優美子


ロベール・シューマン

ドイツとEU

チェコスロヴァキアの軌跡
―中欧における二つの国の自立と連携

生（純粋）チョコとキットカット論争

# 目次
## （予定）

01 ‖ 欧州はなぜ統合したのか：統合の起源と宗教

欧州の分断と統合／ローマ帝国とEU／EUとハプスブルク帝国／キリスト教：カトリック教会とEU統合／フリーメイソン／プロテスタントと欧州統合／バチカンと欧州統合／EU統合における世俗主義／ユダヤ教と欧州統合／イスラムとヨーロッパ／アフリカとヨーロッパ

02 ‖ ヨーロッパ・アイデンティティと欧州市民

独仏和解と歴史教科書／ドイツとイスラエルの「和解」／ヨーロッパのアイデンティティ／「ヨーロッパ回帰」と「中欧アイデンティティ」／ヨーロッパの統合理念／欧州市民と欧州市民権／EUと境界線

03 ‖ EUの偉人たち

クーデンホーフ=カレルギーと「パン・ヨーロッパ」／バルカンの連邦構想／ロベール・シューマン／ジャン・モネ／ウィンストン・チャーチル／コンラート・アデナウアー／ヘルムート・シュミット／ウィリー・ブラント／シャルル・ドゴール／フランソワ・ミッテラン／マーガレット・サッチャー／ジャック・ドロール／ヨシュカ・フィッシャー／ヘルムート・コール／ヴァレリー・ジスカールデスタン／ドラギ／アンゲラ・メルケル／エマニュエル・マクロン／ドナルド・トゥスク／ウラジミール・プーチン

04 ‖ 西欧諸国による戦争と和解（政治）

ベネルクス（ベルギー、オランダ、ルクセンブルク）小国とEU／連邦制か、国家連合か?／ドイツとEU／フランスとEU／イタリアとEU／イギリスとEU／スペインとEU

05 ‖ 経済・通貨統合の発展

経済統合の深化と拡大　①深化／経済統合の深化と拡大　②拡大／石炭鉄鋼共同体／EEC（欧州経済共同体）／欧州原子力共同体／関税同盟：モノの自由移動／共通農業政策（CAP）／単一市場（域内市場）統合／単一市場の拡大（南欧、中東欧とのGSC）／通貨統合：EMSからユーロ誕生まで／ユーロ圏の拡大／ユーロ危機とユーロ制度の改革／EU財政

06 ‖ EU経済とヨーロッパ主要国経済

EUの域内貿易依存度／ドイツ経済とEU／フランス経済とEU／イギリス経済とEU／産業構造

07 ‖ EC／EUと法

EU基本条約／ローマ条約：EUの基礎となった条約／EEC条約の経済的背景／単一欧州議定書（域内市場）／マーストリヒト条約：ECからEUへ／アムステルダム条約／ニース条約／欧州憲法条約／リスボン条約：EUの基本を示す条約

08 ‖ EU：制度と機構

欧州委員会／欧州議会／EUの選挙制度と政党・会派／理事会／欧州（首脳）理事会／EU司法裁判所／欧州中央銀行（ECB）

09 ‖ ヨーロッパと各国の結合

ギリシャとEU／フィンランドとEU／オーストリアとEU／スウェーデンとEU／スイスとEU／ノルウェーとEU／トルコとEU／近隣諸国政策／アラブ諸国

10 ‖ 東欧諸国（旧社会主義圏）とEU拡大

中欧・東欧諸国（旧社会主義圏）へのEUの拡大／ポーランドとEU／ハンガリーと　EU／チェコスロヴァキアの軌跡：中欧における二つの国の自立と連携／ルーマニアとEU／スロヴェニアとEU／クロアチアとEU／バルカンとEU／ロシアとEU／ウクライナとEU／バルト諸国とEU／EUと敵対するルカシェンコ体制のベラルーシ

11 ‖ 21世紀のEUの諸問題

イギリスのEU離脱（Brexit）／EUとアメリカ／NATOの拡大／EC/EUと中国／フランスの大統領選挙／ドイツの右翼ポピュリズムと民主主義／福祉国家とEU／ベルギー・ルクセンブルクとEU／欧州の「イリベラルデモクラシー」：ハンガリーと反EU、極右の成長／ポーランド：国民の間では、親EU、政府は反EU?／統一通貨ユーロの外国為替市場と為替相場／EU諸国の格差とポピュリズム運動

12 ‖ EUと音楽

ベートーヴェン、歓喜の歌／市民社会と音楽：芸術と娯楽／ドイツ音楽とEU／オーストリアの音楽とEU／イタリア・カンツォーネとヨーロッパの民謡／オペラとヨーロッパ／南欧の音楽とロマ、カルメン／フランス・シャンソンとEU／現代フランス・シャンソンとEU／北欧のヘヴィメタルとヨーロッパ／EU内で台頭する周辺のポピュラー音楽／EUと音楽

13 ‖ EUの芸術・文化政策

世紀末ウィーンとEU／EUの文化政策／EUと国際美術展覧会／EUとICOM（国際博物館会議）／EUとイタリアの文化政策／EUとオランダの芸術文化政策／EUとイギリスの文化政策／EUとドイツの芸術文化政策／EUとフランスの文化政策／ヨーロッパと文化財・都市文化政策／EUとクィア・アート

14 ‖ EUと文学・言語・文化

ポーランドにおけるホロコースト受容と文学／ハンガリーのホロコーストと文学／ホロコーストと強制収容所（フランスの文学）／ドイツ・オーストリアのホロコーストと文学／EUにおけるジェンダー問題と文学／中欧のジェンダー文学／ベルギーの文学（たち）／EUの多言語主義政策：その歴史と現状／EU内外のスラヴ言語／少数使用言語の文学／言語マイノリティから見たEU／EUの異言語間コミュニケーション／ヨーロッパの移民文学／ヨーロッパ文化としての映画祭／EU圏のサッカー

15 ‖ グローバリゼーションと人の移動

シェンゲン協定／EUの労働移動とモビリティ政策／EUと移民・難民危機／イタリアと移民・難民／ギリシャと移民・難民／ハンガリーと移民・難民／ウクライナからEUに向かう移民・避難民／ベラルーシの移民・難民と同国を経由する中東難民／ロシアにおける移民との遠い共存／イギリスと移民・難民危機／フランスと移民危機／EUにおける移民法・難民法：移住と庇護に関する法／EU共通航空政策

16 ‖ EUの諸法

EU基本権憲章／EU市民権（EU Citizenship）／EU法の優位性／EU法の直接効果／EU諸価値／EUの措置（派生法）／EU法の統一的適用／民事事項における司法協力／EU法と日本企業

17 ‖ EUとビジネス

EU法とビジネス／物の自由移動／EUにおける設立・開業の自由／EUにおける労働者の自由移動／EU競争法／EUにおける個人データ保護／EUとデジタル化

18 ‖ EUのおもしろ判例

生（純粋）チョコとキットカット論争／シャンパン論争／フォアグラ論争：フランス・ハンガリーのフォアグラ問題／ワイン西と東：ポーランドのワイン、トカイ・ワイン論争／ルーマニアの牛乳問題／EUとスポーツ（ボスマン判決）

19 ‖ EUと気候変動

気候変動（地球温暖化）とEU／復興基金／排出量取引制度／EUグリーンディールとFitfor55／EUのSDGsの取り組み／EUと将来世代／EUにおける動物保護／EUと海洋環境／エネルギー同盟：エネルギー分野における域内の統合・協調

20 ‖ 現代ヨーロッパの国際経済関係

EUの対外貿易／EU経済と中国／EU経済とアメリカ／EU経済とロシア／EU経済と新興国・途上国／EUとWTO／EUの共通通商政策／ユーロ：ドルに次ぐ地域的な基軸通貨／EUの労働政策とフレキシキュリティ（flexicurity）／ノルドストリーム1&2とドイツ=ロシア関係

21 ‖ 地域としてのEU（ユーロリージョン）

CBCプログラム／ポーランドのユーロリージョン／ユーロリージョン：カルパチア・ユーロリージョン／欧州文化首都

22 ‖ 教育・研究：学び合い教え合う

エラスムス・ムンドゥス（世界とEUを結ぶ教育）／ジャン・モネ・チェア（附：法政大学・青山学院大学）／ボローニャプロセス／ブリュージュ欧州大学院大学／EUの大型教育研究支援　プロジェクト／EUと教育：EUの教育分野での連合／EUの人的資本計画

23 ‖ 安全保障・犯罪

安全保障・刑事司法・警察協力／欧州防衛共同体の破綻／NATOとEU：協力のゆくえ／CSCE（欧州安全保障協力会議）／OSCE（欧州安全保障協力機構）／共通外交安全保障政策／欧州刑事警察機構（ユーロポール）／ドイツにおける「新たなテロリズム」の脅威とその対策／ホームグロウンテロリズムとその対策（フランス・ベルギー）／日本と欧州の機構間の安全保障協力関係／サイバー戦争／EUと国連

24 ‖ EUとジェンダー

世界に先駆けるジェンダー政策／EUの3機関の女性トップ／欧州議会とEU各国の議会：ジェンダーの視点から／クオータ、パリテで男女同数に向かう各国の政府閣僚／雇用における男女平等／EUのLGBTIQ（性的マイノリティ）政策／ヨーロッパの生殖医療／ヨーロッパの女性兵士／ポーランドのジェンダー／ポーランドの妊娠中絶についての欧州人権裁判所の判決

25 ‖ コロナ・パンデミックとEU

コロナとEU経済／2020年の欧州の感染爆発と政治的影響／EUにおける医療逼迫と協働支援体制／ワクチン開発（カリコー・カタリン）

26 ‖ EUと日本、EUと日本の大学

日EU経済連携協定／日欧関係：貿易摩擦から協調へ／駐日EU代表部と日本／在ベルギーEU代表部とNATO代表部／日本EU学会とEU研究／慶応義塾大学／早稲田大学／九州大学／神戸大学／一橋大学

27 ‖ ロシア・ウクライナ危機とEU

ロシアのウクライナ侵攻とその国際政治学的背景／ウクライナ危機に垣間見る欧州の国際法秩序観念／ソ連後の社会矛盾と露ウ戦争／ロシアのウクライナ侵略とNATO拡大／EUのロシア制裁とその課題／ウクライナ避難民／ロシア・ウクライナ危機とEU法／ロシア・ウクライナ危機と国際法／ウクライナの腐敗対策に関するEUの取り組み